

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No.

62

2019年10月発行

障害をもつ子どもの自立に向けた宿泊体験

キャンプに行こう！



共同募金配分金を活用して実施

日時：2019年9月14日（土）～15日（日）

行き先：信太山青少年野外活動センター

参加者：子ども9名、ボランティア11名、スタッフ3名

地下鉄と私鉄を乗り継いで、和泉市の信太山青少年野外活動センターに行きました。障害をもつ子どもたちが体験の幅を広げ、将来の自立に向けた力を培うことを目的として、子どもたちが保護者から離れてボランティアのサポートのもとで宿泊体験をしました。帰り、人身事故の影響で私鉄が大幅に遅れるというアクシデントがあり、到着が1時間遅くなりましたが、無事に帰ってきました。

現地では、木製アスレチック、マイ箸づくりの創作活動、グランドゴルフなど、個々の子どもが豊かな自然環境のなかで体験を広げることができました。全体レクリエーションやバーベキューでは、各々が自分のできることで役割分担し、協力し合って物事に取り組む大切さを学ぶことができました。

ボランティアにとっても担当の子どもと2日間生活をともにするなかで、障害をもつ子どもへの認識を深めていく機会になったのではないかと思います。

9月14日（土）

10:00 ほうぶ集合 ⇒ 信太山 ⇒ 昼食 ⇒ 体験活動(箸作り) ⇒ 夕食 ⇒ 花火 ⇒ 就寝

9月15日（日）

朝食 ⇒ レクリエーション ⇒ 体験活動(バーベキュー) ⇒ ほうぶ到着 18:00 解散

<ボランティアの感想から>

- ・ Bくんの担当でした。マイペースでしたが最後まで頑張っていたので良かったです。今回の宿泊の活動を通して、トイレのスリッパを自分で揃えるようになったのが良かったです。

2日目のレクリエーションの後、「アイスを食べたい」とずっとぐずっていて（その後のBBQで優勝チームにアイスが出るため）、温かく横にいて見守ろうと接していましたが、どう接するのが正解なのかがむずかしかったです。二日間ありがとうございました。

- ・ 予想よりも長い距離を歩きましたが、ぐずる子が少なかったような気がしました。良い雰囲気です。全体的に進んで行っていたので、心地よく過ごせました。時間に余裕を持てたのと、とても濃い内容だったと思います。
- ・ 電車の車両では、マナーを守り、年下の子に席を譲る場面があり、お兄さんの一面も見れた事が新鮮でした。また、信太山に到着してからも、自分の事もやりつつ、周りにも気を遣って行動してくれていたのが助かりました。
- ・ 久しぶりにほうぷの方々と会えて楽しかったです。Fちゃんは初めてでしたが、キャンプ、バーベキュー楽しんでくれたようでした。花火が怖くて自分で花火を持つことはできませんでしたが横で花火を見ることはできました。

お昼ご飯・自由遊び



お箸づくり



学生企画レク



しゅうごう！さあ、帰りますよ～

BBQ



ゆかたを着て お祭りにいこう！

日時：2019年8月6日（火）13:00～17:30

参加者：子ども11名、学生ボランティア6名

協力：旭区老人クラブ連合会、トモ美容室

今年の夏も、旭区老人クラブ連合会の女性の方々とトモ美容室さんのご協力をいただき

て、髪をセットして浴衣を着て、近くの千林商店街の千林まつりに行く体験をしました。ご近所から着なくなった浴衣をいただいたり、老人クラブの方々に浴衣を貸していただいたりして、小学生から高校生までの男女とボランティアの女子大学生が浴衣を着ました。浴衣の苦手な子は、洋服のままで自分の好きな髪型にセットしてもらいご機嫌でした。

500円のおこづかいで、食べ物を買ったりゲームをしたりして楽しみました。子どもたちは、浴衣を着たり、髪の毛をセットしてもらったり、お小遣いをもって夜店を巡って買い物をしたり、普段できない体験ができました。

<ボランティアの感想から>

- ・今日のパートナーだったA君が屋台で遊んだことを帰り際もずっと楽しそうにしゃべっていて自分もとてもうれしくなりました。きっちり500円使い切ったのでとっても計算がうまくできる子だなと思いました。
- ・ボランティアで来たのに、髪をセットしてもらい浴衣も着せていただきうれしかったです。
- ・B君はフランクフルトを買っては高架下に戻って食べて、食べ終わったら買いに行っていました。食べ歩きをしませんでした。500円を使い切り、早めにほうぶに帰りました。

<子どもの感想から>

- ・ゆかたが暑かったです。かきごおりのまっちゃやがおいしかったです。
- ・かきごおりたべて わたがしたべて らむねのんで あとゲームしたよ。
- ・楽しかったです。おいしかったです。
- ・フライドポテト、フランクフルト、ラムネ、からあげを食べる、のむのがおいしかったです。



セット中にパンダとおしゃべり♪



どんな飾りをつけてもらおうかな



おいしい!



どう?

すてき!

放課後等デイサービス「楽童ほうふ」報告

楽童ほうふのリーフレットが新しくなりました。ぜひ、ごらんください。

Facebook も広めてください! <https://www.facebook.com/gakudo.houpu/>

リーフレットを見直すにあたり、当法人独自の手法の名称を見直し変更しました。「社会体験活動」や「自立生活プログラムこども版」を「こどもILP (Independent Living Program)」としました。「こどもからはじめる個人将来計画」のワークショップを「ワタシ × ミライワークショップ」としました。子どもたちの未来に向けて、今、楽しく体験を広げていく活動を継続していきます。また、個別支援計画に基づいて、それぞれの子どもの日々の活

動を丁寧に積み重ねていくことを大切にしたいと思います。子どもが本来持っている、自ら育つ力、他者とつながる力、人生を切り開く力を発揮していくことができるようサポートしていきたいです。

夏休み中、『こどもILP』は、通常活動時の「学」「遊」に加えて、「衣」「働」「食」に取り組みました。夏休みの宿題をがんばり、菜園で採れたキュウリやトマトやナスも使い毎日のようにクッキングをしました。電車に乗って野球観戦に行ったり、「カッコイイを見つけよう！カワイイを見つけよう！」のワークショップを行ったり、中高生対象のしごと体験なども行いました。また、呼吸トレーニングやピラティスなど、講師を招いて「からだほぐしのワークショップ」も開催しました。

そして、この夏は、高校生を対象に『自分研究』にも取り組みました。友だちと一緒に、他己紹介をして新しい自分を発見したり、「〇〇な気持ちになる時」を言い合ったり、高校生あるあるトークをやってみたり、困っていることを解決する方法の意見を出し合ったりして、最後に自分の応援マップをつくってもらいました。障害があるから「頑張る」のではなく、いろんな工夫をしたり、ヒトに助けてもらったり、モノに癒されたりして暮らしていくことに気づいてほしいと思います。

創作活動は、きれいな石や針金を使ったアクセサリ作り、メロンとストロベリーのプリンやチョコレートケーキやゼリーのおやつ作り、さをり織りなどをしました。また、「こどもILP」の「衣」でTシャツを染めたり飾りをつけたりしました。

音楽活動は、武庫川女子大学の音楽療法専攻の学生さんたちが、毎月、来てくれて、夏らしく魚の折り紙をしたり、みんなで合奏をしたり、音楽を使ってからだを動かしたりして、楽しい時間をつくってくれました。

9月には、職員が救命講習を受けました。旭消防署の方々に、心肺蘇生の手法やAEDの使い方などを指導していただきました。防災計画書の見直しも行いました。

関係機関や地域との連携では、学校や他の放課後等デイサービスや相談機関の相談員と情報の共有をしたり、町内のふれあい喫茶でしごと体験をさせていただいたりしました。また、旭区の事業所連絡会（区内の放課後等デイサービスと児童発達支援の事業所が参加）主催のポッチャ大会に参加し、みごと優勝しました。





パート3 発表会♥

日時：8月10日（土）午後2時～

参加者：子ども8名、大学生1名

自分がデザインして作ったオリジナルTシャツを着て、ファッションショーを開催しました。自分らしさを表現できたかな。そ「れぞれの子どもの模造紙に1日目の作品と2日目の活動の写真を貼って掲示し、みんなが付箋に感想を書きあって貼りました。「あおぞらのよう♪」「きれいな色にそめたね」「りぼんがいいね」。3日間の活動をまとめた展示物ができました。

働 しごと体験

夏休み恒例となってきた「しごと体験」。今年の夏は、地域のふれあい喫茶と高齢者施設、そして、旭区役所に子どもたちの受け入れをお願いしました。どこも快く受け入れてくださいました。スタッフがサポーターとして同行しましたが、ご迷惑をおかけしたところもあったかと思っています。本当に地域の方々にご理解とご協力をいただき、感謝いたします。

ふれあい喫茶

日程：7月22日（月）午前10時30分～12時30分

参加者：子ども3名

協力：清水地域活動協議会



地域活動協議会が開催している「ふれあい喫茶」で活動をさせていただきました。運営されている方々は、ほうぷの子どもたちのことを知ってくださっているのので、それぞれの子どものことができることを見ながら役割を与えてくださり、子どもたちは達成感がもてたと思います。

<子どもの感想から>

- ・大変だったけど、楽しかったし、良いことが学べた。
- ・がんばりたいことは、ちゅうもん。たのしかったです。できました。
- ・楽しかった。人が多かったけど、仕事のたいへんさやたのしさをしれてよかったです。

<スタッフから>

しごと体験を通して、緊張しつつも精一杯がんばっている子どもたちの姿を見ることができました。喫茶の方々が良いタイミングで的確に指示を出してくださり、充実した活動になりました。子どもたちにとって、楽しく学びある時間になったと思います。



高齢者施設

日程：8月8日（木）午後2時～4時 参加者：子ども2名

日程：8月21日（水）午後2時～4時 参加者：子ども2名

協力：さくら苑

高齢者施設では、掃除、おやつ片付け、レクリエーションの

お手伝い、洗濯物やおしぼりをたたむ等、さまざまな活動をさせていただきました。ご迷惑もおかけしましたが、温かく受け入れてくださり、きめ細やかな対応をしていただき、本当にありがたかったです。

<子どもの感想から>

- ・いろいろな人がいて、そうじとかも大変だけど、楽しかった。
- ・がんばりたいこと、ぞうきん。しごと、たのしい。
- ・シーツたたみがシンプルなしごとで、たのしかったです。
- ・がんばりたいことは、はしらない。もういっかいしたい。



区役所



日程：7月30日（月）午後2時～4時 参加者：子ども2名

日程：8月2日（金）午後1時～3時 参加者：子ども3名

日程：8月22日（金）午後1時～3時 参加者：子ども3名

協力：旭区役所

7月30日は、修正のゴム印を押す、案内資料のラインマーカー塗りなど、事務作業を中心に活動させていただきました。集中力と根気が必要で、かつ、細かな作業だったため、ちょっと難しかったかもしれません。8月2日は、翌日に区民センターで開催されるイベントの会場設営の作業でした。身体を動かすことが好きな子どもたちが参加し、いきいきと活動をしてきました。8月22日は、備蓄飲料の廃棄や、配付資料のセットなどをさせていただきました。備蓄飲料を淡々と捨て続ける作業がハマった子どももいたようです。役所の方々も温かく受け入れてくださり、本当にありがたかったです。

<子どもの感想から>

- ・体調が悪くてあんまりできなかつたけど、またちがうきかいにやるときはげんきなときがいいです。でも、またやりたいておもったけど、つかれた。
- ・がんばりたいこと：協力して作業する。感想：楽しかった。組み立てるのが楽しかったです。
- ・がんばりたいこと：いすをはこぶ。感想：たのしかった。はこぶのがたのしかったです。
- ・がんばりたいこと：けがをしないようにする。感想：最初はパネルの組み立てが難しかったけど、ちょっとずつなれてきて楽しかったです。
- ・がんばりたいこと：あいさつをします。感想：おみず、たのしい。
- ・がんばりたいこと：ていねいに作業する。感想：賞味期限のきれた水をママができるくらいあけてがんばりました。
- ・がんばりたいこと：めいわくかけないこと。感想：かんをあけるのがいたかった。ファイルに紙を入れるのはかんたんだった。

<スタッフから>

手先の器用さが求められる作業や長時間の集中が求められる作業には、難しさを感じる子どももいましたが、それも含めて、体験として意味あるものと考えています。設營業務や保存水の廃棄業務など、からだを動かして行う作業については、意欲的に取り組

める子どもが多かったように思います。いろいろとご迷惑をおかけしましたが、貴重な機会を与えていただき本当にありがとうございました。



学

遊

野球観戦

日程：2019年8月24日（土）

参加者：子ども8名、学生ボランティア7名

地下鉄今里筋線と鶴見緑地線を乗り継いで、京セラドームにプロ野球を見に行きました。オリックス対日本ハムの試合を観戦しました。野球に興味のある子もない子も、まずは野球場に行って、生で野球を見てみよう企画しました。案の定、観戦しないでウロウロしていた子どももいましたが、それぞれの楽しみ方を見つけて過したようでした。

<ボランティアの感想から>

- ・ほうぶのみなさんと野球観戦をして一緒に電車にのって京セラドームに行くのもすごく楽しかったし、野球の試合もおもしろかったです。
- ・今日はAくんとペアでした。電車では眠気と人ごみでつかれたのか、爆睡していました。コンビニで昼ごはんを買うとなるとテンションが上がりまくっていました。ドームでは「おうちに帰りたいー」と言っていたのですが、帰り、「今日どうやった？」と聞いたら、「最高やった！お昼ご飯！」とハンバーガーとしゃけおにぎりを絶賛していたのがおもしろかったです。
- ・電車の列で並ぶ時やドームで応援している間も大人しく並んでくれたのでスムーズに行けたと思います。会話もたくさんできたので、とても楽しい一日でした。野球観戦では、とても野球が好きなので応援できて楽しかったし、大人数で見れたので、会話しながらリラックスできました。
- ・全員がマナーを守り、単独行動もせず、野球観戦を楽しんでくれたので、自分もとても楽しく活動させてもらいました。
- ・今日はBちゃんの担当でした。女の子だしスポーツ観戦に興味はないのかなと思っていたけど球場に行くと最後まで集中して見ていました。私自身も普段なかなか行く機会がないので良い体験になりました。また、行き帰り好きなスマホゲームについて語っていたり一日を通してテンションが高く楽しそうだったので良かったです。



からだほぐしワークショップ第1回 呼吸法

日程：2019年7月25日（木）

参加者：子ども6名 講師：北勝成氏

夏休みの特別企画として、心身をラクにする「からだほぐしワークショップ」を実施しました。第1回は、「成naru健康プロモーション」の北勝成先生にお越しいただき、自律神経を整える腹式呼吸法のレッスンを受けてきました。ふだんは〈吸うー吐く〉という行為そのものを意識することはほとんどありませんが、しだいに緊張がほぐれ、眠気が出てくる子どももいました（もちろん、大人も!）。「からだほぐれると、ラクになる」感覚を、体験をとおして学ぶ機会になればと思います。



からだほぐしワークショップ第2回 ピラティス

日程：2019年7月31日（水）

参加者：子ども6名 講師：石橋晃子氏

夏休みの特別企画、心身をラクにする「からだほぐしワークショップ」第2回は、ピラティスインストラクターの石橋先生にお越しいただき、体幹や関節のストレッチを中心としたプログラムを体験しました。日頃あまり使っていない筋肉をしっかり伸ばしたり縮めたり、時間をかけてほぐしてから、アップテンポの音楽にあわせてダンス♪



● 地域活動報告 ●

- 7月22日(月) 清水地域ふれあい喫茶に参加し、しごと体験
- 8月20日(火) 旭区事業所連絡会（児童）主催 ボッチャ大会に参加
- 8月24日(土) 旭区地域自立支援協議会こども部会主催 子育て応援セミナーに参加
- 8月28日(水) 清水地域活動協議会地域福祉部会主催世代間交流事業の打ち合わせ
- 9月 4日(水) 清水地域子育てボランティアグループ定例会に参加
- 9月 6日(金) 旭区子育て支援「あさひの輪」定例会に参加
- 9月10日(火) ブックスタート（参加者2組）
- 旭区地域自立支援協議会 こども部会 に参加
- 9月13日(金) 旭区ふれあい広場 打ち合わせに参加

9月18日(水) 旭区地域自立支援協議会定例会に参加

9月28日(土) 清水地域活動協議会地域福祉部会主催世代間交流事業の打ち合わせ

◆◆旭区地域自立支援協議会のお知らせ◆◆

<事業所連絡会(児童)>

事業所対抗「ポッチャ大会」を開催しました

日時:8月20日(火) 13:30~15:30

会場:旭区民センター 大ホール

協力:大阪府立光陽支援学校



旭区内の児童発達支援・放課後等デイサービス事業所で作る「事業所連絡会(児童)」の主催で、事業所対抗ポッチャ大会が開催されました。楽童ほうぷも連絡会の構成事業所の一つとして参加しました。

<こども部会>

子育て応援セミナーを開催しました!

日時:8月24日(土) 14:00~16:00

会場:旭区役所 第5・6会議室

内容:第一部 障害当事者による体験談 第二部 座談会

協力:出発のなかまの会、地域ゆめの会、中野子ども病院(一時保育)

参加者:11名 一時保育:3名 こども部会協力スタッフ:16名

障害当事者の方2名とその支援者2名と保護者1名のお話を聴きました。学齢期の障害児の保護者は、学校のことと将来の就職のことを心配しますが、学校で問題を起こしても、学校に行けなくても、仕事を辞めることになったとしても、いろいろな人やモノとのつながりが、障壁を乗り越えたり、やり過したり、つまりは、その人の暮らしていく力になるのだということを教えていただきました。

◆◆清水校下地域活動協議会のお知らせ◆◆

世代間交流事業 ~ 清水みんなの音楽会 ~

日時:10月30日(水) 10:30~11:30 会場:さくら苑地域交流スペース

参加費:無料 主催:清水校下地域活動協議会 共催:清水校下社会福祉協議会

BUONO 2633 (ポーノ) さんによる音楽会を開催します。

酷暑の夏でした。9月が過ぎても暑さが続き、幼稚園や保育所、小学校では、運動会の練習が大変だったと思います。小さなカラダで運動会の練習をがんばっている子ども達に、「がんばれ〜」とエールをおくりたい気持ちでした。

放課後等デイサービス楽童ほうぷの「しごと体験」で、子どもたちは、地域でいろいろな方々に出会い、たくさんの方々と一緒に体験を広げることができました。子どもは、いろんな体験を重ねながら成長していきます。障害のあるなしに関わらず、特別な環境で効率的に発達する方法などはありません。丁寧に日々を積み重ねていくことが大切だと思います。

いろいろな人がいて、お互いの違いを認め合い、お互い様と助け合って暮らしていくことが幸せだと改めて思います。

